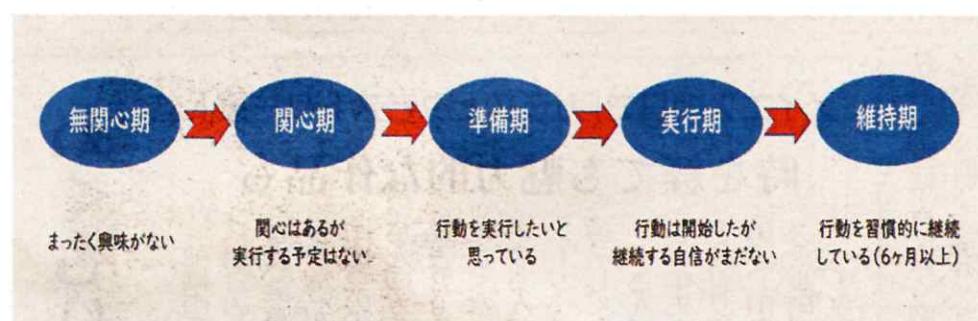


## 行動変容のステージモデル



この考え方、禁  
て大切なのは、健康行  
動をうまく行えるとい  
う自信を持ち、健康行  
動を始めることがで  
きる。そのためには、  
自分が行動を変  
える場合は「無  
関心期」→「関  
心期」→「準備  
期」→「実行期」  
→「維持期」の  
五つのステージ  
を通ると言われ  
ています(図)。  
この考えは、禁  
めるとと思います。こ  
と大好きなのは、健康行  
動を少しづつ  
試し、成功する行動を  
見つけましょう。それ  
で大切なのは、健康行  
動をうまく行えるとい  
う自信を持ち、健康行  
動を始めることがで  
きる。そのためには、  
自分が行動を変  
える場合は「無  
関心期」→「関  
心期」→「準備  
期」→「実行期」  
→「維持期」の  
五つのステージ  
を通ると言われ  
ています(図)。

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。

## ⑯行動変容を起こすには…

人生100年時代の  
健康管理

桐生大学・桐生大学短期大学部副学長  
山科 章



【プロフィル】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

煙推進の研究から導かれたましたが、健康に関するさまざまな行動に応用されています。行動を変えるには、ストレージに合った働きかけが必要です。

読者の皆さん、対象を変えるには、ストレージに合った働きかけが必要です。

運動を変えるには、ストレージに合った働きかけが必要です。

運動を変えるには、